ねりま
区議会だより
NEWS PAPER
2026／No.242
〔令和8年11月13日発行〕
区議会公式X（旧ツイッター）
区議会ホームページ
編集・発行　練馬区議会　〒176-8501　練馬区豊玉北六丁目12番1号　電話03-3993-1111（代）　FAX03-3993-2424　https://www.city.nerima.tokyo.jp/gikai/



石神井公園の秋の風景

令和8年第三回定例会

令和7年度各会計歳入歳出決算を認定

令和8年度一般会計補正予算などを可決

―定例会の概要―

令和8年第三回定例会は、9月3日から10月9日までの37日間の会期で開催しました。

9月3日に区長から「災害に強い安全安心なまちづくり」「豊渓中学校の統合・再編」「独立80周年記念事業の実施・新たな基本構想等の策定着手」「補正予算案の編成」などについての所信表明があり、これを受けて12人の議員が一般質問を行いました。

議案として区長から「令和7年度練馬区一般会計歳入歳出決算」「令和8年度練馬区一般会計補正予算」など33議案が、委員会から「固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める意見書」の1議案が提出されました。

審議の結果、全ての議案を原案どおり可決しました。また、請願・陳情は、2件を採択し、2件を不採択としました。

会議の開催状況

9月3日（木）	議会運営委員会
	本会議（所信表明・議案上程等）
	決算特別委員会
4日（金） 7日（月） 8日（火）	本会議（一般質問）
9日（水）	常任委員会（5委員会）
10日（木）	特別委員会（4委員会）
11日（金）	常任委員会（5委員会）
14日（月）〜29日（火）	決算特別委員会
30日（水）	議会運営委員会
	決算特別委員会
10月1日（木）	本会議（追加上程）
	予算特別委員会
5日（月）	予算特別委員会
6日（火）	常任委員会（5委員会）
	特別委員会（4委員会）
7日（水）	決算特別委員会
9日（金）	議会運営委員会
	本会議（議決）

常任委員会：企画総務委員会、区民生活委員会、保健福祉委員会、都市整備委員会、文教児童青少年委員会
特別委員会：総合・災害対策等特別委員会、医療・高齢者等特別委員会、みどり・環境等特別委員会、交通対策等特別委員会

おもな内容

●一般質問（要旨）…… 2・3・4面
●議決した議案、結果のでた請願・陳情…… 5面
●補正予算の概要…… 5面
●令和7年度決算議案に対する
各会派の意見・要望等及び討論…… 6・7面
●意見書、常任委員会の行政視察…… 8面

R70 古紙パルプ配合率70％再生紙を使用
この印刷物は、植物油インクを使用しています。

区議会だよりは、年4回（2月・6月・9月・11月）開かれる定例会での議案の審査結果、一般質問の要旨等をお知らせしています。

一般質問（要旨）　9月4日

区民が安全安心して暮らせる練馬の実現を

練馬区議会自由民主党

小林（こばやし）　みつぐ

◆区長の基本姿勢について

問 ①75万区民の命と財産を守る基本的な考えは。②参与の選任手続を条例化し、説明責任を果たす考えは。

区長 ①災害対応の先頭に立ち、皆様と力を合わせて命と暮らしを守るため危機に立ち向かう決意。②条例化は考えていない。適切に制度を運用。

◆財政・補正予算について

問 ①キャッシュレス決済ポイント還元事業は複数事業者が利用できる体制で早期実施を。②学校移動教室の無償化等の考えは。③今後の学校統合の考えは。④ふるさと納税返礼品を実施する場合は区内産業界と全庁を挙げた検討を。

区長 ①実施に必要な財源の確保は困難。国等の動向を注視。②無償化に向け検討。③実施計画に基づく統合・再編は一旦立ち止まり、地域の方々とともに考える。**副区長** ④あらゆる選択肢を検討。意見を伺いながら進める。

◆防災対策の充実について

問 ①区長の災害対応への考えは。②消防団への運営費補助金を見直す考えは。③中村橋駅北側関連側道の未整備区間整備の考えは。④救助袋避難訓練に要する学校予算増額の考えは。⑤区職員の過重労働対策の取組は。⑥産業医の処遇改善の検討は。

区長 ①首都直下地震への備えや水害対策を一層進める必要がある。②活動実態に見合った支援を行う。**都市整備** ③都に早期具体化を要請する。**教育長** ④必要な予算の確保に取り組む。**人事戦略** ⑤産業医等による体調確認等を実施。⑥適切な報酬額を検討。

◆総合体育館の改築について

問 改築に向けての区の意気込みと決意は。

地域文化 9年度にかけ基礎調査実施。事業手法等を検討。

◆大江戸線の延伸について

問 大江戸線延伸推進基金を積み増し、延伸とまちづくりを進めるべきでは。

区長 基金は計画的に積み増す。**都市整備** 「延伸まちづくりデザイン」を策定する。

◆地区祭について

問 ①区職員が積極的に地域に関わり地域づくりを進める考えは。②地域振興課と青少年課の2課に分かれた体制を見直し、統合整理すべきでは。

地域文化 ①地域住民が主体となり取り組む活動を後押しできる体制の整備が必要と考える。②分かりやすくより効果的な組織等の整備に努める。

◆清掃リサイクル事業について

問 ①町会・自治会の集団回収報奨金の増額を。②朝のコンテナ等設置の課題解決を。

区長 ①報奨金単価の見直しを検討。**環境** ②負担軽減に向け事業者と協議している。

◆教育環境の整備について

問 過大規模校の解決に向け、9年からの中村小学校改築の基本設計は慎重な検討を。

教育長 まちづくり部門と連携し大規模開発等の情報把握に努め、適切な教室数を確保。

◆区長の基本姿勢について

問 ①認知症カフェ実施店舗の拡充を。②5歳児健診実施後の支援体制整備を。③災害時に配慮が必要な方向けにトイレ等が使える多目的支援カーの導入を。④キャッシュレス決済ポイント還元事業等の物価高騰対策実施を。

区長 ①協力いただける事業者の裾野を広げる。②保健、福祉、教育、子育て分野が連携し切れ目のない体制構築に取り組む。**危機管理** ③避難拠点では災害用トイレ等の備蓄を行うことが有効と考える。**企画** ④国や都の動向を注視。

◆災害時の受援について

問 ①受援計画における受援の枠組みは。必要職員数を把握する体制の構築を。②応援職員の受入れ体制の整備状況は。受入れ訓練の実施を。

危機管理 ①業務継続計画等で要請・受入れ手順等をまとめている。受援本部で調整し要請。②受援本部等で受入れ後、配置。今後訓練を拡充。

◆酷暑対策について

問 ①公共空間と区道への暑さ対策を。②登下校時の日傘活用等をガイドラインに示すべき。学校建物の断熱対策を。

健康 ①他自治体の取組を踏まえ研究。②ガイドラインは適宜見直す。長寿命化改修に向けて、最適な手法を検討。

◆行政AI活用について

問 ①専門人材の確保や育成による推進体制の構築を。②AI活用基本方針策定を。③自動音声対応システムや画像によるごみ分別案内の導入を。

副区長 ①ICT職採用や研修の充実等実施。②DX推進方針を見直し、年内に示す予定。**企画** ③十分な検証が必要。先行自治体の取組を注視。

◆強度行動障がいについて

問 子育て支援講座の夜間・土日開催や父親向け講座の実施を。子どもの成長段階に応じて学べるプログラム整備を。

教育長 講座は土日も開催。父親向けの講座も実施。各種講座や事業の充実を図る。

◆教育について

問 ①デジタル教科書の選択判断は。②AI活用に伴うリスクへの対応は。③教員・児童生徒へ情報活用能力研修を。

教育長 ①紙、デジタル双方の利点を踏まえ、児童生徒にとって最適な学習環境を構築。②③区独自のガイドラインに基づき研修や指導を実施。

◆平和推進事業について

問 ①若者に参加の働きかけを。②パネル展の工夫・改善と語り部の出張講座活用を。

総務 ①学校等へ周知や動画を配信。②アンケートや他自治体を参考に充実に努める。

進めよう、区民第一主義！

練馬区議会自由民主党

上野（うえの）　ひろみ

◆区長の基本姿勢について

問 区長は区民の声をどう集め、整理し、政策決定につなげるのか。区民の声と自身の判断が異なる場合、何を基準として決断されるのか。

区長 私自身が直接お話を伺う等、丁寧な対話を重ねる。意見が相反しても、どちらかに偏ることなく、区民生活に何が最善か熟慮を重ねたい。

◆公共施設等総合管理計画について

問 今後の施設マネジメントにおいて、施設そのものを維持することだけではなく、「地域に必要な機能をどう残すのか」という視点をより明確に位置づけるべきと考えるが、区の見解を聞く。

副区長 地域に必要な機能や防災の観点も含め検討し、社会状況や将来の需要を踏まえたマネジメントに取り組む。

◆スポーツ施設の整備について

問 練馬総合運動場公園の夜間照明整備と少年野球場の抜本的な再整備の考えを聞く。

地域文化 夜間利用は光の影響等、住環境への配慮が必要。少年野球場は補助172号線の整備に合わせ改修。

◆まちづくり条例について

問 施行から20年を迎える「まちづくり条例」について、実態を踏まえ、条例全体を検証する必要性の認識は。条例の目的と運用実態との整合性について総点検を行うべきと考えるが、区の見解は。

都市整備 当初から、多様な主体の協働によるまちづくり制度として運用。現在も有効性は失われておらず、時代の要請に合致した条例と考える。手続の利便性向上、運用面の改善を実施。引き続き、適切な運用に努める。

◆清掃リサイクル事業について

問 製品プラスチックの分別回収・資源化が始まるが、区民への周知の考えは。回収現場が混乱しないための対策は。

区長 各所で住民説明会等や啓発冊子の全戸配布等を行った。回収事業者とは入念に調整しながら準備を進めている。

◆公園整備及び緑道の再整備について

問 ①（仮称）田柄二丁目公園整備と田柄川緑道の再整備事業は一体的に捉え、田柄地域の新たな「みどりの軸」として整備し、相互に連携して地域の魅力を高められたい。②約1年間にわたるワークショップで出された意見を整備計画にどこまで反映するのか。今後の具体的なスケジュールを伺う。

技監 ①両施設は、田柄地域の豊かなみどりや良好な景観形成に資する貴重な空間。地域の皆様との議論を生かし、一体的なみどりのネットワークとして連携させることで、さらなる魅力向上につなげる。②全ての要望の実現が難しい場合は、取り入れる内容と見送る内容、その理由を示す。今年度、基本設計を行い、どちらも来年度に実施設計、10年度の工事着手を目指す。

◆練馬区誕生80周年について

問 ①区長は、将来の練馬区のグランドデザインをどのように描いているのか。②80周年に向けて名誉区民顕彰についてはどのように考えているか。③80周年記念のオリジナルナンバープレートの交付を検討してはどうか。

区長 ①新たな基本構想を策定する。区民が安心して穏やかに暮らせるまちをつくり、みどりに囲まれた静かな環境と地域のにぎわいを共存させたい。②③今後検討する。

◆令和7年度決算と区財政

問 ①今後、公約実現に向け様々な施策を展開していくと考える。そのために強固な財政基盤が必要。現在の経済情勢を踏まえ、今後の財政見通しは。②今回の決算状況をどのように総括しているのか。

副区長 ①歳入は景気変動等により予断を許さず、歳出は硬直化が進んでいる。全施策の効果や必要性を検証し、財源確保や基金・起債の適切な運用に努める。②社会状況の変化に的確に対応しながら必要な施策を推進し、持続可能な財政運営を堅持できた。

◆都市型水災害について

問 ①内水氾濫は短時間で道路が冠水し、避難経路が寸断されるおそれがある。安全な避難に向け、情報発信や避難誘導体制の充実を。②ハザードマップの最新の降雨や被害状況を踏まえた見直しは。

危機管理 ①気象情報をホームページ等で即時発信する。リスクが高まった際は避難行動要支援者に連絡し、避難誘導等を支援。②今後も適時適切に見直す。水災害訓練や出水期前の個別ポスティングにより注意喚起。③排水ポンプ等冠水対策を講じるとともに、注意喚起の看板を設置。冠水時は警察と連携し安全を確保。

◆福祉施策について

問 ①光が丘福祉専門学校は開校から1年半が経ち、2期生も入学した。開校の効果と課題は。②都は民生児童委員への支援充実に取り組んでいる。支援内容と区の対応は。

高齢施策 ①1期生全員を区内事業者への就業につなげた。今後は参加事業者の拡大が必要。**福祉** ②都は活動費を月額3万円に増額、委員を雇用する企業へ協力金10万円を支給。区は活動費増額の補正予算案を提出予定。

◆教育施策について

問 令和10年に豊玉南小学校と豊玉第二中学校へ区内初めての自閉症・情緒障害学級の設置を予定しているが、設置に向けた現在の検討状況は。

教育長 入級手続等の整理や、設置予定校との協議等を行い、円滑な開設に向けた取組を進めている。

あなたの「声」届いてますか！

練馬区議会国民民主党・無所属・都民ファーストの会

山田（やまだ）　かずよし

◆激甚災害と物価高から区民の命と生活を守れ

西野（にしの）　こういち

危機管理 ①業務継続計画等で要請・受入れ手順等をまとめている。受援本部で調整し要請。②受援本部等で受入れ後、配置。今後訓練を拡充。

◆酷暑対策について

問 ①公共空間と区道への暑さ対策を。②登下校時の日傘活用等をガイドラインに示すべき。学校建物の断熱対策を。

健康 ①他自治体の取組を踏まえ研究。②ガイドラインは適宜見直す。長寿命化改修に向けて、最適な手法を検討。

◆行政AI活用について

問 ①専門人材の確保や育成による推進体制の構築を。②AI活用基本方針策定を。③自動音声対応システムや画像によるごみ分別案内の導入を。

副区長 ①ICT職採用や研修の充実等実施。②DX推進方針を見直し、年内に示す予定。**企画** ③十分な検証が必要。先行自治体の取組を注視。

◆強度行動障がいについて

問 ①地域生活支援拠点を軸に人材育成や相談支援事業の充実を。②次期障害者計画に将来的取組や支援等の明記を。

福祉 ①練馬福祉人材育成・研修センターと連携し専門人材育成。また、拠点を核に相談支援体制を構築。②サービス見込み量や支援内容を示す。

◆親育ち支援について

問 子育て支援講座の夜間・土日開催や父親向け講座の実施を。子どもの成長段階に応じて学べるプログラム整備を。

教育長 講座は土日も開催。父親向けの講座も実施。各種講座や事業の充実を図る。

◆教育について

問 ①デジタル教科書の選択判断は。②AI活用に伴うリスクへの対応は。③教員・児童生徒へ情報活用能力研修を。

教育長 ①紙、デジタル双方の利点を踏まえ、児童生徒にとって最適な学習環境を構築。②③区独自のガイドラインに基づき研修や指導を実施。

◆平和推進事業について

問 ①若者に参加の働きかけを。②パネル展の工夫・改善と語り部の出張講座活用を。

総務 ①学校等へ周知や動画を配信。②アンケートや他自治体を参考に充実に努める。

一般質問は、9月4日・7日・8日の3日間、12人の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。
全文は、定例会閉会後、おおむね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば（区役所北庁舎1階）、区議会ホームページで閲覧できます。

※1スフィア基準…紛争や災害の際の避難所の環境について、一人当たりの居住空間、トイレ設置の割合や男女比等、最低限の基準を定めたもの
※2子どもコミッショナー…行政から独立した立場で、子どもの権利擁護・救済を行う機関

豊渓中の統廃合中止の公約をあきらめるな

日本共産党練馬区議団　島田（しまだ）　拓（たく）

◆区長の基本姿勢について

問 ①豊渓中の統合を進める理由としている子どもへの影響とは何か。②公約を守るのであれば地域との話合いを優先せよ。③豊渓中と旭町小の小中一貫校が難しい理由は。

区長 ①人間関係が構築され、統合を見据えた活動等が進められており、前提の変更は不安や混乱を生じさせるおそれがある。②7月に関係者から直接意見を伺った。③学級数が区の基準に満たないため。

◆防災対策について

問 ①避難拠点において発災後72時間、冷房空間を確保せよ。②長期的に電源を確保する防災電源網の構築を。③避難拠点で1人当たり3.5平米を確保した場合の収容人数等を検証すべきでは。④水害ハザードマップの再検討を。

危機管理 ①非常用発電機と電気自動車等を活用し暑さ対策を行う。②構築には課題が多いと認識。③スフィア基準※1等を踏まえ生活空間の確保に努める。④適時適切に見直す。

◆子ども権利条例について

問 ①子ども※2コミッショナーを設置すべきでは。②子どもの権利条例を制定せよ。

教育長 ①②引き続き、子どもの権利擁護を図っていく。

◆公共の担い手確保について

問 ①公契約条例はいつまでにどんな検討体制で施行するのか。②区発注工事における労務費の調査・確認の検討を。

区長 ①外部有識者等による検討組織で実施時期も含め検討。**総務** ②入札参加事業者に労務費を確認している。都の調査等を踏まえ取組を検討。

◆賃貸住宅の省エネ化について

問 ①不動産会社と連携して住宅の省エネ性能ラベルの普及に取り組め。②空室時の省エネ診断や改修を管理会社等に案内・推奨する取組を。③カーボンニュートラル化設備設置補助金の対象に賃貸住宅も位置づけ、壁・床の断熱改修も加える等充実を。

副区長 ①賃貸住宅所有者等に向けてホームページ等で情報提供。②引き続き丁寧に補助制度等を周知。③現時点で補助の予定はない。国等の動向を注視し適時適切に見直す。

◆地域公共交通について

問 ①既存バス路線を維持・回復させる施策を展開せよ。②バス運転手確保に向け、国と都にどう働きかけてきたのか。③都にバス事業者への直接支援を求めよ。④バス路線維持のため、他自治体との連携を主導すべき。見解は。⑤シルバーパスの一律千円化を。

都市整備 ①交通事業者や都と連携し、路線の維持を目指すとともに、路線再編を行う。②③就業環境の改善のための財政支援等を繰り返し都へ要請したこともあり、都は交通事業者への支援金やバス運転手の居住にかかる補助を実施。④交通事業者の支援は国や都、関係自治体と連携して取り組むべきもの。**高齢施策** ⑤区独自に補助する考えはない。

2040年を見据えた区政課題を問う

練馬区議会自由民主党　笠原（かさはら）　ともこ

◆高齢者施策及び介護保険事業

問 ①第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画をどう検証し第10期に反映するか。②介護人材の確保・育成・定着をどう進めるか。③フレイル予防の目標・役割を整理し、地域包括支援センター等と共有強化を。④低栄養等を早期に把握し、改善への取組を。⑤健康寿命延伸を区政の重要目標とし、区長自ら発信・推進を。⑥富士見台特養跡地について、在宅サービスの継続や2・3階活用、地域利用を含め今後の方向性は。

高齢施策 ①第9期計画の実施状況や昨年度実施した基礎調査の結果等を踏まえ検討。②研修や就職面接会等、区独自の支援を実施。③地域ケア会議等で共有。④講座や高齢者宅訪問等で支援。⑤第10期計画で施策の充実を検討。⑥地域との関係性等を考慮し社会福祉事業団と引き続き協議。

◆就職氷河期世代への支援

問 ①調査で判明した課題と支援策は。②高齢期を見据えた支援を。③社協による伴走型支援が求められるが見解は。

副区長 ①②就労や家族介護等複合的な課題を抱えた方が多く、不安軽減に向けた支援を検討。③効果的な支援に向け、社協と連携し体制強化。

◆障害者福祉について

問 次期計画の課題と重点、区長の考えと覚悟は。

区長 当事者等の声を聴き、サービスの充実、家族への支援強化、人材確保と事業所の事務負担軽減に取り組む。

◆経済対策について

問 ①区内経済・事業者の現状は。②景気対策特別貸付の概要、既存制度との違いは。③過去の特別貸付の効果は。

区長 ①業況や売上げが改善の一方、全業種でコスト上昇により収益圧迫。②売上高や利益率が減少する区内中小企業等を対象に資金調達を支援。融資限度額を引き上げ、信用保証料を全額負担。**産業経済** ③経営の安定化や事業継続を下支えする役割を果たした。

◆地域活動の新たな担い手づくりについて

問 「やってみたい」から新たな活動を生み出す、人づくり・場づくりの仕組みを。

区長 区民協働交流センターの機能拡充を検討する。

◆都営南田中団地の建て替え事業に関するまちづくり

問 ①都との協議の進捗は。②区が都に求めた内容の実現に向け、どう協議を進めていくか。③都と連携し、住民への丁寧な情報提供を。

都市整備 ①②地区計画は都が住民原案をまとめ、区が都市計画決定する。都には地域の声を聴き、真摯に対応すること等を要請。③節目節目で丁寧な説明を都に求める。

◆（仮称）富士見台一丁目公園の整備について

問 地域の声を生かし、長く愛される公園づくりを。

技監 対話プロセスを大切に、基本計画を取りまとめる。

一般質問（要旨）9月7日

誰もが「ここにいていい」と思える練馬へ

インクルーシブな練馬をめざす会　岩瀬（いわせ）　たけし

◆子どもの権利・多様性・多文化共生について

問 ①パートナーシップ・ファミリーシップ条例の制定準備を。②子どもの権利条例制定の工程は。③多文化共生基本方針の早期改定を。

区長 ①先進自治体の制度を参考に検討。**教育長** ②引き続き条約の理念を実現する取組を検討。**地域文化** ③来年度調査を実施し、検討。

◆不登校・LD※3支援について

問 ①適応指導教室は欠席日数によらず利用可と周知を。②校内別室の毎日開室を。③不登校の子の通年無料健診を。④フリースクール利用に区独自助成を。⑤音声教材周知を。

教育長 ①分かりやすく案内できるよう各校に周知。②より効果的な事業展開に向け検討。③年間受診できる環境整備を検討。④区独自の補助を始める考えはない。**教育振興** ⑤効果的な周知方法を検討。

◆学校・学童のトイレについて

問 男女の仕切りが不十分なトイレは、ただちに改善を。

教育振興 状況を確認し、できる限り早期に対策を講じる。

◆教職員の負担と給食について

問 ①国立学校や外国人学校等に通う子に給食費補助を。②部活動指導員の配置で教員が部活動から離れられたか検証を。指導員の研修受講の保障を。③学校栄養士の勤務実態の調査と役割分担の徹底を。

区長 ①区独自に補助対象と要件や処遇等を検討している。今後の動向を注視。

◆包括的性教育と学習環境

問 ①宮崎市を参考に包括的性教育の視点を盛り込んだ統一教案を作成し、モデル校で実施を。②ネオンカラー等、目立つ色のスクール水着の導入を。③小学校でのデジタル教科書の使用は厳格に。法改正を受けて区の方針は。④児童館等への生理用品設置の検討状況は。各庁舎にも設置を。

教育長 ①7年度から全校・園で区独自のプログラムを実施。新たな取組予定はない。②現在の取組状況や教員の意見等を確認し検討。③児童に最適な学習環境を構築。**総務** ④窓口配布やトイレ設置等、施設状況に応じて対応。区庁舎は他自治体を参考に検討。

◆若者政策の充実について

問 ①給付型奨学金創設の検討状況は。②若年女性のための居場所事業「まるく」に移動型ユースクリニックの機能を。③地域貢献と連動した若者向け家賃補助導入の考えはあるか。④地域で活動する若者団体向け補助金の創設を。

区長 ①奨学金利用者等へのヒアリングや他自治体の調査を実施。**総務** ②「まるく」では民間団体と連携した相談支援を実施。**建築・開発** ③考えはない。**教育長** ④活用できる既存制度を周知。

◆ファミリーシップ制度の創設

問 ファミリーシップ制度の早期創設を。

区長 国の動向や当事者の意見等を参考に検討している。

◆高齢者の爪ケアについて

問 介護予防対策として爪ケアの重要性等の啓発を。

高齢施策 適切な知識やケア方法等の普及啓発を検討。

◆まちづくりと暑さ対策

問 ①交差点に大型サンシェードの試行設置を。②喫煙所のコンテナ化を。③ベンチとごみ箱は暮らしやすさに直結する重要なインフラ。私有地等を活用した設置の推進を。

技監 ①安全確保や維持管理等、様々な課題があるため研究。**環境** ②広い設置面積が必要。適地を検討。③ベンチ設置による周辺住民への影響を懸念。事業者へごみ箱の設置を義務づける考えはない。年度光が丘春の風小に設置。中学校への早期設置も検討。

◆地域課題・広域避難について

問 ①大泉学園通りの歩道段差は補修方針等の周知を。②石神井庁舎跡地は高層化しない方針の明確化を。③広域避難計画と移送手段の具体化を。

技監 ①案内看板設置等により周知。**企画** ②容積率等を可能な限り活用する必要がある。**副区長** ③上田市と受入れ体制等について協議を開始。

◆物価高騰対策について

問 ①区独自の家賃補助の見通しは。②補装具の基準額超過分に差額助成を。③日常生活用具の給付限度額を物価に応じ見直す基準の設定を。

区長 ①支援の検討を進める。

福祉 ②他区の状況を踏まえ研究。③本人・家族のご意見を伺い、実勢価格等を踏まえ、必要な支援が届くよう努める。

※3LD…Learning Disabilityの略。学習障害のこと。知的には遅れがないのに、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するといった学習の一部にだけ不得意がある状態

回答者の略称　企画：企画部長　区政改革：区政改革担当部長　危機管理：危機管理室長　総務：総務部長　人事戦略：人事戦略担当部長　産業経済：産業経済部長
地域文化：地域文化部長　福祉：福祉部長　高齢施策：高齢施策担当部長　健康：健康部長　保健所：練馬区保健所長　環境：環境部長　都市整備：都市整備部長
建築・開発：建築・開発担当部長　教育振興：教育振興部長

新区長と共に描く、練馬の新たなビジョン

練馬区議会立憲民主党　富田（とみた）　けんじ

◆区長の基本姿勢について

問 事業の白紙化等、引き算の話題が先行している。区民が求めているのは立ち止まった先のビジョンである。リーダーとして重要課題をどう決断し、公共施設整備全体をどのような方針で進めていくか。

区長 多様な意見・要望を受け止め、どちらかに偏ることなく、区民生活に何が最善か熟慮を重ねたい。持続可能な施設マネジメントに取り組む。

◆美術館再整備について

問 ①計画見直しに当たり、平田氏ら専門家の意見を聞くべき。所見は。②改修と改築をトータルコストで比較検証すべき。所見は。③今後の美術館の価値と役割の認識は。

区長 ①②現況調査の結果や施設の機能、コスト等を勘案し、区民の皆様や必要に応じて学識経験者等の意見も伺い、検討。③鑑賞や参加、創作活動の場や機会の提供等、公共性の高い役割があると認識。

◆図書館の在り方について

問 ①再整備計画が白紙となった今、「これからの図書館構想」の扱いは。②今後の改修や再編において、幅広い世代が交流できるサードプレイスの視点をどう反映するか。

教育長 ①構想は今後の図書館には欠かせないもの。将来像は変わらない。②貫井図書館へのカフェ併設等を検討。誰もが気軽に立ち寄れる情報拠点となるよう取り組む。

◆防災・熱中症対策について

問 ①避難拠点となる体育館の空調設備について、停電を見据えた非常用電源確保等、具体的な取組は。②気象警報等の新基準を踏まえ、水害時の避難行動の周知と対策の強化を。③猛暑下は区行事の開催時期の柔軟な見直しを。

危機管理 ①学校改築等の機会を捉え、太陽光発電設備や蓄電池の導入等、電源確保の充実に努める。②引き続き「防災の手引」等を活用し、様々な機会を通じて周知啓発に取り組む。**健康** ③猛暑の影響と個々のイベント状況を踏まえ、対策を講じる。

◆ふるさと納税とシティプロモーションについて

問 ①多額の住民税流出を防ぐため、今度こそ返礼品導入は総合計画や教育ビジョンに包括的性教育の実施を明記し、学校・家庭・地域社会が一体となって取り組んでいる。区も総合計画等に位置づけるべきでは。③大人の学びも重要。講座実施の考えは。

教育長 ①性暴力等防止対策評価委員会の意見を踏まえ、健全な生育と利用者の安全性、環境との調和を図りながら、樹木ごとの特性に応じた剪定や維持管理に取り組んでいる。

◆防災について

問 全ての避難拠点運営連絡会結成から20年以上が経過し、担い手が高齢化。世代交代には区の支援が必要。どのように取り組んでいるのか。

危機管理 ねりま防災カレッジ受講生の協力を得ているほか、災害ボランティア登録制度を設けている。訓練等の参加者にも協力を働きかける。

◆包括的性教育の推進について

問 ①毎年改善するとした「人権を基盤とした教育プログラム」の改善状況は。②宮崎市の決断を。②返礼品を契機に「アニメと漫画のまち」を力強く推進する心意気はあるか。

副区長 ①あらゆる選択肢を排除せず検討。意見を伺いながら丁寧に進める。**地域文化** ②アニメや漫画は区の強みであり、取組を強化していく分野と認識。今後は充実を図る。

◆ベーシックサービスについて

問 修学旅行費等の無償化を教育分野における実質的なベーシックサービスの推進として発信すべき。今後はどのような分野へと拡充し、社会全体で子どもたちを支えるか。

企画 子育て世帯の負担軽減が目的で、ベーシックサービスの一環とは考えていない。今後も国等の施策動向を注視し、世帯の負担軽減に努める。

区民との対話による新しい区政に転換を

生活者ネットワーク　やない　克子（かつこ）

◆区長の基本姿勢について

問 ①基本構想策定に当たり区民同士が議論を重ねる機会が重要。考えは。②子どもの権利条例制定を公約に掲げた区長が就任し、多くの区民が期待を寄せている。条例制定についての考えは。

区長 ①（仮称）練馬区基本構想検討会議で議論を重ねる。区民同士の対話機会の創出について手法を研究。**教育長** ②引き続き、子どもの権利を保障する取組について検討。

◆命を守るみどり施策について

問 ①樹冠被覆率※4をみどり施策の指標に位置づけ、将来的な目標値の設定を。②樹冠を意識した街路樹の植栽・剪定・維持管理を。

環境 ①樹冠被覆率の算出は困難なため指標とする考えはないが、国の検討状況等を注視していく。**技監** ②樹木の健全な生育と利用者の安全性、環境との調和を図りながら、樹木ごとの特性に応じた剪定や維持管理に取り組んでいる。

◆防災について

問 全ての避難拠点運営連絡会結成から20年以上が経過し、担い手が高齢化。世代交代には区の支援が必要。どのように取り組んでいるのか。

危機管理 ねりま防災カレッジ受講生の協力を得ているほか、災害ボランティア登録制度を設けている。訓練等の参加者にも協力を働きかける。

◆包括的性教育の推進について

問 ①毎年改善するとした「人権を基盤とした教育プログラム」の改善状況は。②宮崎市の話題が先行している。区民が求めているのは立ち止まった先のビジョンである。リーダーとして重要課題をどう決断し、公共施設整備全体をどのような方針で進めていくか。

区長 多様な意見・要望を受け止め、どちらかに偏ることなく、区民生活に何が最善か熟慮を重ねたい。持続可能な施設マネジメントに取り組む。

◆美術館再整備について

問 ①計画見直しに当たり、平田氏ら専門家の意見を聞くべき。所見は。②改修と改築をトータルコストで比較検証すべき。所見は。③今後の美術館の価値と役割の認識は。

区長 ①②現況調査の結果や施設の機能、コスト等を勘案し、区民の皆様や必要に応じて学識経験者等の意見も伺い、検討。③鑑賞や参加、創作活動の場や機会の提供等、公共性の高い役割があると認識。

◆図書館の在り方について

問 ①再整備計画が白紙となった今、「これからの図書館構想」の扱いは。②今後の改修や再編において、幅広い世代が交流できるサードプレイスの視点をどう反映するか。

教育長 ①構想は今後の図書館には欠かせないもの。将来像は変わらない。②貫井図書館へのカフェ併設等を検討。誰もが気軽に立ち寄れる情報拠点となるよう取り組む。

◆防災・熱中症対策について

問 ①避難拠点となる体育館の空調設備について、停電を見据えた非常用電源確保等、具体的な取組は。②気象警報等の新基準を踏まえ、水害時の避難行動の周知と対策の強化を。③猛暑下は区行事の開催時期の柔軟な見直しを。

危機管理 ①学校改築等の機会を捉え、太陽光発電設備や蓄電池の導入等、電源確保の充実に努める。②引き続き「防災の手引」等を活用し、様々な機会を通じて周知啓発に取り組む。**健康** ③猛暑の影響と個々のイベント状況を踏まえ、対策を講じる。

◆ふるさと納税とシティプロモーションについて

問 ①多額の住民税流出を防ぐため、今度こそ返礼品導入は総合計画や教育ビジョンに包括的性教育の実施を明記し、学校・家庭・地域社会が一体となって取り組んでいる。区も総合計画等に位置づけるべきでは。③大人の学びも重要。講座実施の考えは。

教育長 ①性暴力等防止対策評価委員会の意見を踏まえ、資料追加や重複部分の整理等改善を行った。②他の計画への記載方法は今後検討。③さらなる展開は今後関係部署と連携して検討。

◆香害、化学物質過敏症への対応について

問 ①教育委員会から学校長宛てに香害に関する対策を依頼しているが、学校間で保護者への情報提供に差がある。学校における情報提供の徹底と周知啓発の考えは。②芳香剤などの化学物質により公共施設のトイレを使えない当事者がいる。無香料化の取組を。

教育長 ①昨年度は保護者周知の文書例を示し、各校に積極的な周知を依頼した。引き続き、周知啓発に取り組む。**保健所** ②今後も国や業界団体の動向を注視しながら、職員や区立施設の管理者等に対して香りへの配慮について周知に努める。

◆外環の2の事業認可について

問 事業認可を区長はどう受け止め、住民に対応するか。

都市整備 都に対し、詳細設計においても、区や関係者と十分な協議を行うよう求める。

※4 樹冠被覆率…高木の枝葉で覆われた土地の面積割合を示すもの

一般質問（要旨）9月8日

税金を使って、区民の生活はどう変わった？

練馬区議会無所属　しもだ　玲（れい）

◆新しい区政のかたちについて

問 ①区長として見直すべき行政慣行は。②課題を次年度予算に反映する仕組みは。予算編成の優先順位の判断基準は。③区税の流出対策として、ふるさと納税返礼品を含む寄附獲得策の検討を。④所得制限の撤廃や段階給付等を比較し、支援基準の研究を。

区長 ①説明や手続の改善、デジタル技術の活用等、工夫の余地。職員と話し合い見直す。②決算特別委員会等、議会での議論を踏まえ、成果や課題を検証。本当に必要なものを考え、予算編成に取り組む。**副区長** ③区民サービスの安定的な提供と練馬の魅力発信の観点から、あらゆる選択肢を検討。**企画** ④予算編成過程で個々の制度を検証し、必要に応じて見直している。

◆物価高と暮らしについて

問 ①区民の家計と区内中小事業者への追加支援を。②もののづくり・創業を支える3Dプリンター等を活用できる拠点の複数設置の検討を。

区長 ①迅速に支援が行き届くよう柔軟かつ機動的に対応。

産業経済 ②有用性や整備について産業団体の意見を伺う。

◆大江戸線延伸の負担について

問 延伸推進でも、財政面は不断の検証が必要。約200億円の区負担の根拠と上振れリスク、基金等の財源構成、需要創出についての考えは。

都市整備 国補助金や都事業費等、区負担により、物価変動を踏まえ採算性を確保。基金を積み増し、特定財源も確保。需要推計等は都が行う。

◆区民が主役の地域づくり

問 ①区民参加型パブリックアートのモデル実施を。②ボランティア活動証明制度のモデル実施を。

地域文化 ①誰もがまちなかでアートを感じられる取組を進める。②参加の契機としての証明書発行は考えていない。

◆いざというときの防災

問 帰宅困難者対策と、宿泊を伴う防災訓練の充実を。

危機管理 8月に警察等と発災時の対応等を確認。引き続き対策を強化。宿泊訓練は取組を紹介し、共有している。

◆治療を支える制度について

問 ①子どもの付添い入院の実態とニーズを把握し、対応を。②継続的な通院が必要で既存制度の支援が届かない区民への移動支援等の検討を。

健康 ①支援策は必要に応じ医療機関等と協議。②当事者の意見を伺い、支援を進める。

◆猛暑と子どもの遊び場

問 既存施設等を活用した、屋内遊び場の展開を。

教育長 地区区民館改修の際に子どもたちの居場所を充実。

◆身近な移動と公園について

問 ①シェアサイクル事業はサービス安定性や利用者負担等を踏まえ、事業の在り方の判断を。②ドッグラン設置は「研究」からモデル実施を。

技監 ①利用実績等の検証結果を踏まえ、検討。**健康** ②課題を踏まえ、引き続き研究。

練馬区の明るい未来・住みやすさ守る区政

練馬区議会日本維新の会　吹田（すいた）　ひでとし

◆防災対策について

問 練馬区総合治水計画の見直し時期の目途は。

技監 都は現在、河川流域ごとの豪雨対策の改定を進めている。示される流域対策の目標量を踏まえ見直しを行う。

◆教育・子育て政策について

問 ①子どもの自殺対策に向けたプッシュ型支援の検討状況は。②学校ごとのタブレット持ち帰り状況等を調査し、通学時の重量負担の実態把握を。③産後ケアの予約が取りづらい。区の事業者支援は供給量増加に結びついたか。

教育長 ①児童生徒の悩みや心の変化を把握する効果的な対策について、国や都の動向等を注視し検討。②柔軟な対応を各校に求めている。学校訪問等の機会を捉えて取組状況を把握し指導する。**健康** ③助産師会等と協議を重ね、実態に即した加算を実施。事業者数は23区最大となった。

◆高齢者・障害者福祉について

問 ①訪問歯科診療でも区の歯科健診が受けられる仕組みの導入を。②重症心身障害者が週5日通所できる体制整備を。③練馬光が丘病院の医療的ケア児者の短期入所の対象を16歳以上へ拡大を。

健康 ①歯科医師会と協議を進める。**福祉** ②体制等が整った施設から可能となるよう取り組む。③利用できる施設が少ないと認識。区内医療機関に対し、実施を働きかける。

◆まちづくり・住宅・交通政策について

問 ①家賃補助制度はどのような制度設計を検討しているか。②中村橋駅の交通結節機能改善に向け検討し、ビジョンを示すべきでは。③補助133号線の整備と沿道まちづくりを一体的に捉え、地域とともに土地利用の検討を。④区立公園でのボール遊びや犬を連れての利用も検討するか。

区長 ①引き続き検討を進める。**技監** ②③まちづくり検討会を再始動し、地域の皆様とともに課題を検討。④様々な意見が寄せられている。特徴や地域の実情に応じ多様に利用できる公園を増やしたい。

◆新しい区政運営と行財政改革について

問 ①練馬区参与はどのような重要施策に進言・助言し、どのような役割を担うのか。②全事業について成果等を把握・公表し、一定基準に該当する事業を重点評価する二段階の行政評価制度構築を。③練馬区独立80周年記念のブルーインパルス飛行に向け、防衛省等の関係機関に相談・要請し、実現可能性の検討を。

区長 ①参与は判断等を補佐する立場。地域課題や区民ニーズを区政運営にどう生かすかについて意見を伺っている。

区政改革 ②効率的で質の高い行政運営と、透明性が高く開かれた区政の両立に向け、効果的な行政評価の在り方を検討する。③現在、ブルーインパルスの展示飛行を国に要望する準備を進めている。

一般質問は、9月4日・7日・8日の3日間、12人の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。
全文は、定例会閉会後、おおむね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば（区役所北庁舎1階）、区議会ホームページで閲覧できます。

議決した議案

審議の結果、全ての議案を認定・可決しました。
議案の内容は、区議会ホームページでご覧いただけます。

	件　名	内　容	結果
区長提出議案	令和７年度練馬区一般会計歳入歳出決算	歳入決算額　363,391,254,957円　歳出決算額　355,476,252,662円	認定
	令和７年度練馬区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	歳入決算額　65,260,261,739円　歳出決算額　64,696,853,982円	認定
	令和７年度練馬区介護保険会計歳入歳出決算	歳入決算額　64,736,652,904円　歳出決算額　63,992,073,758円	認定
	令和７年度練馬区後期高齢者医療会計歳入歳出決算	歳入決算額　20,602,788,016円　歳出決算額　20,574,927,016円	認定
	練馬区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例	東京都女性福祉資金貸付条例の一部改正を踏まえ、事業開始資金、事業継続資金、医療介護資金の一部、生活資金の一部、結婚資金、修学資金の一部及び就学支度資金の一部の貸付限度額を引き上げる。	可決
	練馬区景観条例の一部を改正する条例	景観法の一部改正により、「景観整備機構」の名称が「景観整備推進法人」に改められること等に伴い、規定の整備を行う。	可決
	練馬区立都市公園条例の一部を改正する条例	旭町緑地（旭町１－39－２）及び南大泉いこい緑地（南大泉５－21－17）を新設する。	可決
	練馬区立幼稚園条例の一部を改正する条例	子ども・子育て支援法施行規則の一部改正を踏まえ、保育の必要性の認定を受けた園児に係る預かり保育料の額を引き下げる。	可決
	練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	都立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正を踏まえ、東京都との均衡を図るため、介護補償及び葬祭補償の額並びに休業補償等に係る補償基礎額を引き上げる。	可決
	特別区道路線の認定について（５件）	道路法第８条第１項の規定に基づく特別区道路線の認定を行うに当たり、同条第２項の規定に基づき議決を求める。	可決
	練馬区役所本庁舎照明ＬＥＤ化改修工事請負契約の一部変更について	令和７年第四回練馬区議会定例会において可決された契約について、賃金等の変動に対するインフレスライド条項を適用し、契約金額を変更する。	可決
	練馬区役所本庁舎空調設備等改修工事請負契約の一部変更について		
	新たな小中一貫教育校校舎等改築工事請負契約の一部変更について	令和５年第三回練馬区議会定例会において可決された契約について、賃金等の変動に対するインフレスライド条項を適用し、契約金額を変更する。	可決
	新たな小中一貫教育校校舎等改築機械設備工事請負契約の一部変更について		
	練馬区立練馬東小学校校舎等改築工事請負契約の一部変更について	令和７年第四回練馬区議会定例会において可決された契約について、賃金等の変動に対するインフレスライド条項を適用し、契約金額を変更する。	可決
	練馬区立練馬東小学校校舎等改築機械設備工事請負契約の一部変更について		
	練馬区立練馬東小学校校舎等改築電気設備工事請負契約の一部変更について		
	練馬区立向山小学校校舎等改築工事請負契約の一部変更について		
	練馬区立向山小学校校舎等改築機械設備工事請負契約の一部変更について		
	練馬区立向山小学校校舎等改築電気設備工事請負契約の一部変更について		
	練馬区立石神井南中学校校舎等長寿命化改修工事請負契約の一部変更について	令和７年第二回練馬区議会定例会において可決された契約について、賃金等の変動に対するインフレスライド条項を適用し、契約金額を変更する。	可決
	練馬区立石神井南中学校校舎等長寿命化改修機械設備工事請負契約の一部変更について		
	練馬区立石神井南中学校校舎等長寿命化改修電気設備工事請負契約の一部変更について		
	テントの買入れについて	災害時に避難拠点等において避難者が利用するテントを購入する。	可決
	練馬区の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の取消しについて	地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律第３条第５項の規定に基づく郵便局の指定の取消しを行うに当たり、同条第３項の規定に基づき議決を求める。	可決
	令和８年度練馬区一般会計補正予算	補正額　5,084,436千円　計　373,765,441千円	可決
	令和８年度練馬区国民健康保険事業会計補正予算	補正額　△425,062千円　計　67,683,514千円	可決
	令和８年度練馬区介護保険会計補正予算	補正額　770,324千円　計　66,126,218千円	可決
	令和８年度練馬区後期高齢者医療会計補正予算	補正額　3,115千円　計　21,569,318千円	可決
委員会提出議案	固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める意見書	８面に全文を掲載	可決

賛否の分かれた議案　本会議で採決を行い、賛否が分かれたもの　　○…賛成　×…反対

件　名	自民党	公明党	練馬会議	共産党	インクル	こもんず	立憲民主	生活ネット	つながる	無所属の会	無所属	参政党	維新の会	結果
令和７年度練馬区一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	認定
令和７年度練馬区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	認定
令和７年度練馬区介護保険会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	認定
令和７年度練馬区後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	認定
令和８年度練馬区一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決

結果のでた請願・陳情

請願・陳情の要旨は、区議会ホームページでご覧いただけます。

採択したもの

請願・陳情番号	件　名	結果
請願7号	気象警報等発令時における区立学校の臨時休校基準及び情報伝達体制の見直し等について	採択
120	光が丘夏の雲公園いちょう通りの路面の改善等を求めることについて	採択

不採択としたもの

陳情番号	件　名	結果
115	物価高騰対策給付金における公平性の確保と納税困窮世帯への支援について	不採択
121	障害者福祉施策の改善及び重度障害児者の生活基盤・安心安全の確保について	不採択



起立採決の様子

賛否が分かれたもの　本会議で採決を行い、賛否が分かれたもの　　○…陳情の願意に賛成　×…陳情の願意に反対

陳情番号	件　名	自民党	公明党	練馬会議	共産党	インクル	こもんず	立憲民主	生活ネット	つながる	無所属の会	無所属	参政党	維新の会	結果
121〔第1項・第2項〕	障害者福祉施策の改善及び重度障害児者の生活基盤・安心安全の確保について	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	不採択
121〔第3項〕	障害者福祉施策の改善及び重度障害児者の生活基盤・安心安全の確保について	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	不採択

10月補正予算　補正予算総額　50億8444万円

●新規・充実事業	16億8953万円	●工事等にかかる課題への対応	△669万円
●区内中小企業への支援	12億3088万円	●その他	4億7408万円
●国の法改正等に伴う補正	16億9664万円		

会派の略称　自民党：練馬区議会自由民主党　公明党：練馬区議会公明党　練馬会議：練馬区議会国民民主党・無所属・都民ファーストの会　共産党：日本共産党練馬区議団
インクル：インクルーシブな練馬をめざす会　こもんず：ねりまこもんず　立憲民主：練馬区議会立憲民主党　生活ネット：生活者ネットワーク
つながる：つながる市民・練馬　無所属の会：練馬無所属の会　無所属：練馬区議会無所属　参政党：練馬区議会参政党　維新の会：練馬区議会日本維新の会

令和7年度決算議案に対する 各会派の意見・要望等及び討論

令和7年度一般会計及び各特別会計決算は、議長を除く全議員により構成される決算特別委員会（委員長　酒井妙子、副委員長　島田拓）において、慎重かつ厳正に審査が行われました。
各会派から出された意見・要望等及び討論の要旨は、次のとおりです。

決算の成果を、さらなる区政の充実へ！

練馬区議会自由民主党（14人）

令和7年度練馬区一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算の認定に賛成。

物価・人件費の上昇、人手不足、不安定な国際情勢で、区民生活と地域経済は大きく変化した。高市内閣の「責任ある積極財政」を踏まえ、物価高対策と成長への投資を進め、財政の持続可能性を確保することが重要だ。

令和7年度は前川区政12年間の最終年度。「第3次みどりの風吹くまちビジョン」に基づく福祉・医療、子育て・教育、都市インフラの施策を進め、5度の補正予算で区民生活と地域経済を支えたことを評価する。区民サービスの充実、基金の積立て、起債残高の抑制等、将来を見据えた財政運営も評価する。

一方、歳出規模は過去最大となった。社会保障関係経費の増加や公共施設の更新、都市インフラ整備に多額の財源を要する。歳入も景気に左右されるため、事務事業の見直しと、国・都の特定財源や区有資産、寄附等の活用で、「稼ぐ力」の向上を求める。ふるさと納税による区税流出に対応し、寄附文化を育み、自主財源の確保に努められたい。

同時に、必要な社会資本整備や、将来の区民生活を支える施策には、基金や起債も適切に活用し、未来への投資を着実に進められたい。

新たな区政においても、75万区民の命と暮らしを第一に、持続可能な行財政運営を求める。区民や約60団体から伺った声を次年度予算に反映し、安心して暮らせる練馬へ、我が会派も全力を尽くす。

【総務費】①「地球の歩き方」練馬区版で80周年事業や区の魅力発信を。②災害時の物資輸送体制の強化を。③公契約条例は先行区研究と関係者からの慎重な意見聴取を。④産業医安定確保のための処遇改善を。**【区民費・地域文化費】**①美術館・図書館再整備は契約解除に伴う負担額の公表を。現況調査・長期費用を踏まえた改修・改築等の検討と必要な修繕を。②自衛官募集への理解・協力を。退職自衛官の防災部門等への登用を。③練馬総合運動場公園の夜間照明整備の検討と隣接の少年野球場の早期改修・整備を。④火葬助成の周知と、都・23区連携による火葬場の指導強化、体制整備を。⑤町会・自治会の加入促進と若い担い手確保を。**【産業経済費・環境費】**①キャッシュレス決済ポイント還元事業の早期実施・複数決済対応と、デジタル地域通貨の検討を。②公設喫煙所整備による喫煙環境向上を。③資源回収の増車、回収拠点の見直し、委託料適正化と熱中症対策支援の継続を。④こどもの森の拡張整備完遂と、安全性を確保した魅力あるツリーハウス整備を。⑤経営課題や返済負担を踏まえた中小企業支援充実を。⑥農業体験等で住民の理解を広げ、将来にわたって営農を続けられる環境整備を。⑦アニメプロジェクトin大泉の案内・待ち時間等の対策を支援し、商店会負担軽減を。**【保健福祉費・介護保険会計】**①外国人介護人材の就職マッチング支援事業の参加事業者拡充を。②就職氷河期世代の相談支援連携と中間的就労先の開拓を。③三原台の地域生活支援拠点整備を待たず、重症心身障害者の受入れ体制の早期整備を。④がん検診で要精密検査となった方への受診勧奨を。⑤四師会共通の「災害医療救護者証」の実現を。⑥交付金・基金を活用した介護保険料の上昇抑制を。⑦社会福祉法等改正に対応した介護・福祉の体制整備を。**【都市整備費・土木費】**①都営南田中団地建て替えを契機に練馬高野台駅周辺のよりよいまちづくりを。②アンダーパスの事前通行規制・バルーン遮断機等による冠水事故防止を。③道路構造変更や沿道住宅への影響発生時は住民・区議会への周知・説明を。④都への大江戸線延伸の働きかけと新駅のにぎわいづくりを。⑤放射7号線代替地等の都との密接な連携による早期情報把握を。**【教育費】**①豊渓中統合再編を検証し、学校適正配置への反映を。地域とともに跡施設活用の検討を。②食材購入単価の把握・検証による給食の質向上と、日本一の学校給食を目指し取組を。③別室登校充実による不登校支援を。④教職員対象の救助袋訓練を。訓練体制と訓練に要する予算の増額を。**【こども家庭費】**①保育需要を精査し、0～2歳児中心の待機児童対策を。②学校施設開放の共通ルール整備と、予約システムの導入を。③子育てスタート応援券の電子化を契機に制度充実を。④私立保育園の人材紹介手数料負担軽減と、国の新制度を活用した人材確保を。⑧美術館再整備への地域の期待を今後につなげよ。⑨やまなみ公園は子どもの利用も可能に。⑩都やJAと連携し農地保全の取組を。⑪ねりまファミリーパックの対象者とサービス拡充を。⑫喫煙実態に即した条例改正等、対策見直しを。⑬キャッシュレスポイント還元事業は複数決済に。物価高対策は家計負担軽減と中小企業・商店街支援を分けて実施を。⑭アニメ産業の課題の把握と連携強化を。⑮産後ケアは施設数拡大と切れ目ない支援を。⑯成年後見制度利用支援の強化を。⑰介護人材確保に向け幅広い世代への広報を。⑱介護資格取得から就労まで一体的な支援を。⑲災害時に障害者へ確実な情報伝達を。⑳介護業界のイメージアップに向けた情報発信を。㉑次期練馬区障害者計画で手話施策の充実を。㉒失語症者への支援に向け実態把握を。㉓移動支援の報酬単価等への独自支援を。㉔シェアサイクル社会実験終了後の占用料の在り方検討を。㉕自動運転の社会実験を。㉖都と連携した水害対策を。㉗一般緊急輸送道路の沿道耐震化率向上を。㉘平成つつじ公園の早期完成を。㉙練馬城址公園外周道路の拡幅に向け引き続き都と協議を。㉚校外プール授業は移動を考慮した時間設定を。㉛不登校対策は本人に合った支援を。㉜区立幼稚園の要配慮児の受入れ体制強化、職員の専門性向上、私立園との連携による幼児教育の充実を。㉝臨時的任用教員の質の確保とウェルビーイング教育の研修を。㉞第1子保育料無償化による需要分析、みなし保育士の効果検証と人材紹介手数料補助の検討を。㉟待機児童解消に向け時限的な公設保育所設置を含め検討を。㊱子育て施設の設置は利用者の移動に配慮を。㊲児童館以外の中高生の居場所の充実を。㊳幼保小連携強化に向け子ども一人一人の記録の引継ぎを。

未来に責任！安心・安全な練馬を目指して。

練馬区議会公明党（7人）

令和7年度練馬区一般会計並びに3特別会計の歳入歳出決算額を認定し賛成。我が会派の提案・要望に対し着実に取り組まれたことを評価。**【総務費】**①入札不調対策として見積り期間の延長を。②公契約条例検討は適宜報告を。③水害ハザードマップの更新と周知を。④GovTech※1東京と連携し人材育成とDX推進を。⑤都の女性活躍推進条例を周知し職場環境整備を。**【区民費・地域文化費】**①デジタル庁開発のPMH※2活用でマイナ連携推進を。②新たな公共予約システムの周知と利便性向上を。③収納率の向上と生活に困った方への支援を。④特定健診・特定保健指導の受診率向上へ効果的な勧奨を。**【産業経済費・環境費】**①カーボンニュートラル化設備設置等補助対象拡充を。②可燃ごみ減量に向け情報発信を。③粗大ごみ収集にDX活用を。④農業に生分解性プラスチックの積極的な活用を。⑤商店街空き店舗関連補助事業の整理を。**【保健福祉費】**①ケアプランデータ連携の導入促進を。②ペットのマイクロチップ装着の普及啓発と補助対象頭数拡大を。③イベント等でペット緊急連絡カード配布を。④聞き取り困難症の啓発を。⑤ストーマ装具の給付額の増額を。⑥成人歯科健診の訪問診療を。⑦都に広域的な療養介護施設整備の要望を。**【都市整備費・土木費】**①内水氾濫危険箇所に監視カメラ設置を。②アンダーパスに遮断バー設置を。③公共駐車場に自動二輪駐車場所を。④交通空白地域解消に向けデマンドタクシー導入拡充を。⑤大江戸線延伸に伴う新駅に十分な駐輪場確保を。**【教育費】**①ICT教育推進のため端末活用支援と教員へのサポート体制強化を。②ゆとりある給食時間の確保を。③特色ある給食メニューの魅力発信を。④学校プールの新たな運用指針策定を。⑤全校に学校司書の常勤配置を。⑥区立幼稚園の障害児への対応強化を。⑦練馬こども園の低年齢型推進に向け補助拡充と安定運営を。**【こども家庭費】**①ねりっこプラスの安全対策と学童クラブの長期休業中の昼食充実を。②病児・病後児施設への委託料引上げを。③ベビーシッター利用支援事業の利便性向上を。④低年齢保育需要への対応を。⑤練馬こどもカフェの土日開催を。

危機管理意識を高め未来に繋ぐ練馬区を！

練馬区議会国民民主党・無所属・都民ファーストの会（7人）

令和7年度一般会計、各特別会計の認定に賛成。①実効性のある公契約条例の制定を。②コンビニトイレの在り方について意見交換を。③業務でのAI活用で効率化を。④各マンションの課題に合う防災の支援を。⑤止水板設置助成は十分な予算確保を。⑥官民連携で水害時の車両避難場所の確保を。⑦電動キックボードの区内登録を働きかけ、税収確保を。⑧美術館再整備への地域の期待を今後につなげよ。⑨やまなみ公園は子どもの利用も可能に。⑩都やJAと連携し農地保全の取組を。⑪ねりまファミリーパックの対象者とサービス拡充を。⑫喫煙実態に即した条例改正等、対策見直しを。⑬キャッシュレスポイント還元事業は複数決済に。物価高対策は家計負担軽減と中小企業・商店街支援を分けて実施を。⑭アニメ産業の課題の把握と連携強化を。⑮産後ケアは施設数拡大と切れ目ない支援を。⑯成年後見制度利用支援の強化を。⑰介護人材確保に向け幅広い世代への広報を。⑱介護資格取得から就労まで一体的な支援を。⑲災害時に障害者へ確実な情報伝達を。⑳介護業界のイメージアップに向けた情報発信を。㉑次期練馬区障害者計画で手話施策の充実を。㉒失語症者への支援に向け実態把握を。㉓移動支援の報酬単価等への独自支援を。㉔シェアサイクル社会実験終了後の占用料の在り方検討を。㉕自動運転の社会実験を。㉖都と連携した水害対策を。㉗一般緊急輸送道路の沿道耐震化率向上を。㉘平成つつじ公園の早期完成を。㉙練馬城址公園外周道路の拡幅に向け引き続き都と協議を。㉚校外プール授業は移動を考慮した時間設定を。㉛不登校対策は本人に合った支援を。㉜区立幼稚園の要配慮児の受入れ体制強化、職員の専門性向上、私立園との連携による幼児教育の充実を。㉝臨時的任用教員の質の確保とウェルビーイング教育の研修を。㉞第1子保育料無償化による需要分析、みなし保育士の効果検証と人材紹介手数料補助の検討を。㉟待機児童解消に向け時限的な公設保育所設置を含め検討を。㊱子育て施設の設置は利用者の移動に配慮を。㊲児童館以外の中高生の居場所の充実を。㊳幼保小連携強化に向け子ども一人一人の記録の引継ぎを。

豊渓中の統廃合中止の公約をあきらめるな

日本共産党練馬区議団（5人）

2025年度練馬区一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計の4決算の認定に反対する。

本決算は、前区長の下編成、執行された最後の年度の決算。産後ケアの充実や避難拠点へのエアーベッドの備蓄開始等、評価できる施策がある一方、前区政から引き継がれた区民に不利益となる問題がある。

反対理由の第1は、住民が反対する事業をトップダウンで進めたこと。

学校適正配置の名の下に豊渓中学校の統廃合を進めた。保育を必要とする家庭があるにもかかわらず谷原保育園の閉園方針を維持する等、住民要求に背を向けている。

反対理由の第2は、必要性の低い事業に多額の税金を投入しようとしたこと。

美術館再整備では、工事費が76億円から109億円に膨らむ中、負担の全体像を示さず建て替えを進めようとした。また、大泉第二中学校を分断する都市計画道路は必要性と住民生活への影響を検証し、見直すべき。

反対理由の第3は、物価高騰の中、区民に負担を増やそうとしていること。

国保、介護保険、後期高齢者医療保険料の重い負担を軽減する支援が必要。財政調整基金が562億円ある中、未就学児の均等割軽減に必要な年5千万円の負担を拒否している。

私たちは新区長の下、美術館再整備の見直し等、前向きな変化を後押しする。一方、区長が学校統合を進める方針を示したことは選挙公約に反している。谷原保育園の閉園方針を維持し、1年保育による対応を続ける姿勢も問題。

前区政からの問題点は改善を求め、区長選で示された公約の実現に力を尽くす。

「区民の声を聴く区政」の充実に期待
インクルーシブな練馬をめざす会（3人）

4決算に賛成。昨年度は前区長の下での予算が執行された年度であり、その内容については賛同できない部分もあるが、決算審査を通じて見えた課題を、新区長の下、改善・発展させていくことを期待。今後以下の点等に取り組んでいただきたい。

孤立防止対策は相談窓口を設けるだけでは孤独感が強い人ほど相談しづらい。関心を持ちやすいテーマをきっかけに地域とつながり、継続的な参加や相談につながる工夫を。

生活保護は、物価や家賃の上昇等を踏まえ、実態に即した制度となるよう、国に強く見直しを求めるべき。

住まいの支援も、東京の実情に応じた制度設計を国に求めるとともに、区としてもより踏み込んだ支援の検討を。

豊渓中学校の統廃合は、子どもをはじめとする学校関係者・地域住民との対話を重ね、地域にとって納得できる形をともに築くことを期待。

区民の声を聴くことはもちろん、その声を施策に反映し、結果を区民に伝える積み重ねで区民から信頼される区政を。



決算特別委員会

これからの時代は若者重視で！
ねりまこもんず（3人）

令和7年度決算認定に賛成。物価高が長期化し区民生活に影響を及ぼす中、予算執行率は96・4％となり、子ども・高齢者、福祉・医療に特化した執行となった。中小企業や福祉事業者への支援、学校給食や第1子保育料無償化、障害者の生活支援等の施策を評価する。一方、学習障害当事者への支援や不登校対策、包括的性教育等、不足もある。

社会状況の悪影響は、その社会で最も弱い人に及ぶ。特に若者の生活困窮を懸念する。奨学金返済や住居費・教育費等の負担から、結婚や子育てを諦めざるを得ない人も多い。一見、生活が成り立っているようでも、将来への備えができない等「見えにくい困窮」にも目を向ける必要がある。子育て世帯や高齢者への支援に加え、若者を支える政策を区政の重要な柱として位置づけられたい。子どもや若者が未来に期待できる社会をつくることが私たちの責務である。

私たちは各種団体との懇談を通じて得た多様な声を踏まえ、今後も施策の拡充を求めていく。

暮らしと命を守り、区民参画でつくる区政を
練馬区議会立憲民主党（3人）

令和7年度一般会計・特別会計決算の認定に賛成。必要な支援が区民に届いたか検証し、次年度の予算編成と事業運営に反映することを求める。

福祉面では、身寄りのない高齢者の終身サポートの利用者保護と、区の関与強化を。医療的ケア児の学校行事等への参加を支援し、保護者付添いの負担軽減を。児童相談における都区連携と虐待リスクの変化への対応を求める。

防災面では無料耐震診断制度の利用促進、防災まちづくり事業実施地区の木造住宅への感震ブレーカー補助メニュー拡充を。治水対策として雨庭や雨水タンク、透水性舗装等のグリーンインフラ推進を。

さらに美術館再整備の見直しは早期に具体的な道筋を示し、専門家の知見や区民との対話を生かすべき。区報はSNSで培った視覚的ノウハウを生かして抜本的リニューアルを。公園については、花火解禁に続き、ペット同伴利用の制限緩和の検討を。武蔵関公園に子どもや高齢者も利用しやすいペダルボート等の導入と、冬季営業の実施検討を。

あらゆる施策で「対話型区政」の推進を
生活者ネットワーク（2人）

一般会計、3特別会計決算に反対。美術館・貫井図書館の再整備や豊渓中学校の統廃合、都市計画に伴う区内各地のまちづくり等、前区長が編成し、計画ありきで執行した決算を容認できない。

公共施設の無香料化に取り組め。地球温暖化対策は省エネ・創エネ設備設置補助に加え再生可能エネルギーへの切替え補助等も検討を。家賃高騰はあらゆる世代に影響。住まいの総合相談窓口の設置を。障害のある児童生徒への合理的配慮の実践事例を蓄積し学校間で共有、活用を。私立保育所誘致に当たり、園庭設置等子どもの権利の観点から区独自の選定基準を。春日町青少年館改築期間中のねりま若者サポートステーション代替施設の早期確保を。改築後は幅広い若者世代の支援拠点に。

問われる吉田区長の「決断」と「選択」
つながる市民・練馬（1人）

4決算に反対。学校改築経費が急騰、最近では80億円に。国負担金・交付金の見直しを求めよ。早宮区民事務所は駅から遠く、有楽町線沿線区民の利便性に課題。氷川台駅前に移転を。外環の2は石神井公園周辺の自然環境、生態系、景観への影響を懸念。都に保全の働きかけを。前立腺がんは部位別罹患率が最大、65歳過ぎから70代にかけ急増。検診対象年齢の拡大を。昨年度、労働者派遣で学校司書を全校配置したが、4月に22校で交代。直接雇用への移行を。豊渓中統廃合問題で区長が公約をほごにしたことは極めて残念。一人の政治家として責任が厳しく問われることを指摘。

守る。区民の生活、子どもの未来
練馬無所属の会（1人）

令和7年度一般会計・3特別会計決算に賛成。①介護人材の確保・育成・定着は重要な課題。離職率は改善傾向であるが、引き続き区独自の養成研修をはじめ、人材の裾野拡大に取り組まれたい。②区立学校給食は全額税金で賄っていることに鑑み、今まで以上に残菜を減らす取組に注力されたい。③独立システム関連コストの低減のため、AIエージェントの活用を含め、内製化を図られたい。④病児・病後児保育で、予約に至らなかった理由を把握する取組を一部施設で試行されたい。また利用者が空き情報等を即時に把握できるような8施設共通システムを構築されたい。

何をしたかではなく、何が変わったか検証を
練馬区議会無所属（1人）

各会計決算の認定に賛成。決算は、「いくら使い、何を実施したか」だけでなく、「その結果、区民生活がどう変わったのか」までの検証が必要。効果の薄い事業は見直し、財源や人員を必要な分野へ振り向ける。公共施設も、必要性や活用状況を検証し、維持・更新に伴う将来負担を考慮すべき。効果的な活用を。また、将来世代に負担を残さないことも私たちの責任と捉え、行政に成果を求める以上、議会としても決算審査の在り方を改めて考えるべきである。

決算審査で明らかになった課題は現在の行政運営で改善しつつ、令和9年度予算編成につなげるよう求める。

不法滞在、不法就労外国人対策の徹底を！
練馬区議会参政党（1人）

令和7年度決算認定に賛成。①防犯カメラ設置助成検討や在留資格確認の徹底等、不法就労外国人対策に尽力を。②美術館再整備は先送りせず建て替え方針の早期策定を。③光が丘福祉専門学校が実質的に海外人材確保の場である状況を憂慮。日本人の募集に全力を。④危険な解体工事を行うクルド人等下請業者の不法就労確認と元請業者への指導監督徹底を。⑤いのちの授業の包括的性教育をやめ、学習指導要領に準拠した性被害防止教育に特化を。⑥氷川台駅前まちづくりの建物共同化推進を評価。経費の予算化を。⑦発達障害児支援は専門家の知見を保育現場等へ啓発を。

練馬区の明るい未来・住みやすさ守る区政を
練馬区議会日本維新の会（1人）

令和7年度決算認定に賛成。①必要な家庭に夏休みの食事・居場所支援を。②仕事と介護の両立に向けた家族介護者支援の強化を。③吸う人・吸わない人双方の環境を守るため、密閉型等の公設喫煙所設置を。④教員の負担軽減に向け、現場ニーズを踏まえた学校支援人材の柔軟な活用を。⑤若者・現役世代を含む全世代への特殊詐欺対策強化を。⑥補助133号線整備を契機に、中村橋駅周辺まちづくりの推進とバス交通改善を。⑦豊渓中統廃合は区長自身による説明と、地域・保護者との対話継続を。⑧子ども性暴力防止法施行に向け、関係事業者が円滑に対応できるよう支援を。

※1 GovTech東京…都と区市町村を含めた東京全体のDXを効果的に推進するために設立された一般財団法人

※2 PMH…Public Medical Hubの略。自治体や医療機関、対象者間で情報を連携するシステムのこと。

＊議員数は構成人数（自民党は議長を除いた人数）

意　見　書　10月９日に提出しました。

●固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める意見書（提出：区民生活委員会）

我が国の景気は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要があり、区民や小規模事業者を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況にある。

このような中、現在、都が実施している固定資産税及び都市計画税の軽減措置等は、区民生活の安定と、中小事業者にとっての事業の継続や経営の健全化の大きな支えとなっており、今後も必要な措置であると考える。

23区の固定資産税は、都区共通の財源であり、こうした軽減措置等の継続は当区の財政運営にも影響を与えることになるが、都が軽減措置等を廃止することになれば、区民や小規模事業者に与える影響は極めて大きく、地域社会の活性化や地域の景気にも悪影響を及ぼす要因となることが強く危惧される。

よって、本区議会は都に対し、令和９年度以後の次の事項の継続について強く求めるものである。

1　小規模住宅用地に対する都市計画税を２分の１とする軽減措置
2　小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を２割減額する減免措置
3　商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65％に引き下げる減額措置

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和８年10月９日

▷宛先・・東京都知事

河川改修促進大会に参加

８月６日、調布市グリーンホールにおいて、都内の14区21市２町１村が加盟する第64回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会が開催されました。

この大会は、東京都の河川改修事業を早期に達成し、地域住民にとって、安全で水害のない水と緑豊かな潤いあふれる生活環境の創設を図ることを目的として開催されています。

大会では、「気候変動の影響により激甚化・頻発化する豪雨災害から都民の命と暮らしを守る総合的な治水事業の強力な推進」のほか５項目を国会、政府及び東京都に要望する大会決議案を採択しました。

練馬区議会からは、議長を含む議員９人が参加しました。

道路整備事業推進大会に参加

10月13日、千代田区の砂防会館別館において、東京都区市町村が主催する第37回東京都道路整備事業推進大会が開催されました。

この大会は、東京の広域化する交通混雑の緩和や安全で快適なまちづくりに資するため、道路、橋梁、鉄道連続立体交差等の整備及び公共交通を充実させる都市モノレール等の整備の推進を図ることを目的として開催されています。

大会では、「東京外かく環状道路や直轄国道をはじめとする幹線道路ネットワークの整備を推進すること」のほか10項目を決議し、大会終了後に国土交通省、東京都、東京都議会等に提案要求活動を行いました。

練馬区議会からは、議長を含む議員８人が参加しました。

常任委員会の行政視察

練馬区議会では、今後の行政施策の参考とするため、各都市へ視察を行いました。

委員会名	視察日	視察先	視察目的
企画総務委員会	10月21日～22日	愛知県一宮市	・一宮スマートシティ推進協議会及びＤＸの推進について
		福井県	・結婚支援及び幸福実感指標を活用した政策運営について
区民生活委員会	10月21日～22日	石川県金沢市	・美術館を活用した地域活性化について
		富山県富山市	・ＡＩカメラを活用した人流分析について
保健福祉委員会	10月15日～16日	京田辺クロスパーク	・農福連携事業について
		愛知県岡崎市	・終活支援事業について
都市整備委員会	10月20日～21日	福岡県福岡市	・総合的な治水対策について ・コミュニティパーク事業について
文教児童青少年委員会	10月15日～16日	山形県山形市	・山形市における部活動の地域展開について
		ろりぽっぷ小学校	・学びの多様化学校における不登校支援等について

「ねりま区議会のしおり」を配布しています



区議会の役割や仕組み、会議のあらまし等を掲載しています。

ぜひ、ご活用ください。

配布場所

議会事務局（区役所西庁舎５階）、区役所本庁舎・石神井庁舎１階、各区民事務所、地域集会所、図書館等

おしらせ

●新会派の結成（令和８年７月24日付）

沢村信太郎議員が「練馬区議会立憲民主党」を脱会し、「練馬無所属の会」を結成しました。

定例会の開催予定

次回の定例会は、11月27日（金）から開催する予定です。

本会議、各委員会の開催日時等については、お問い合わせください。詳細な日程は、開催の１週間前を目途にホームページに掲載します。手話通訳をご希望の方は、事前にお申し出ください。

令和８年熊本地震に対する義援金を贈りました

練馬区議会は、７月28日に発生した令和８年熊本地震により甚大な被害を受けた熊本県に対し、８月10日に義援金を贈りました。

区議会だよりへのご意見・ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

広報・図書委員会

委　　員　　長：高　橋　しんご
委員長職務代理：吉　田　ゆりこ
委　　員：井　上　勇一郎
委　　員：やくし　辰　哉

政治家は贈らない　有権者は求めない

- 政治家からの寄附は禁止
- 政治家に対する寄附の要求も禁止
- 時候のあいさつ状を出すことは禁止

※ただし、行事等の会費は除きます。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。